

(1) 調査の目的	(3) 調査内容	【今年度調査の特徴】
義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教科指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。	①教科に関する調査 ・小学校等【国 語 ・ 算 数 】 ・中学校等【国語・数学・英語】 ※理科は3年に一度程度の実施のため実施せず	※教科に関する調査は、国語、算数・数学に加えて、英語（中学校のみ）を4年ぶりに実施 ※英語「話すこと」調査については、当日実施校と期間内実施校があり、期間内実施校については4月19日（水）から5月26日（金）まで期間で実施。
(2) 対象学年	②質問紙調査（児童生徒に対する調査、学校に対する調査）	
小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、支援学校小学部第6学年【岬町：実施校数・児童数 3校88人】	(4) 実施日 令和5年4月18日（火）	
中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、支援学校中学部第3学年【岬町：実施校数・生徒数 1校77人】		

各教科の状況

小学校 国語	学習指導要領の内容		岬町の平均 正答率(%)
	知識及び 技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	72.0
		情 報 の 扱 い 方 に 関 す る 事 項	65.3
	思考力、 判断力、 表現力等	話 す こと・聞 く こと	73.9
		書 く こ と	23.9
	読 む こ と	69.3	

小学校 算数	学習指導要領の領域及び評価の観点		岬町の平均 正答率(%)
	領域	数 と 計 算	65.5
		図 形	45.7
		変 化 と 関 数	70.5
		デ ー タ の 活 用	64.8
評価の 観点	知 識 ・ 技 能	67.4	
	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	52.1	

中学校 国語	学習指導要領の内容		岬町の平均 正答率(%)
	知識及び 技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	76.6
		情 報 の 扱 い 方 に 関 す る 事 項	64.9
		我が国の言語文化に関する事項	81.0
	思考力、 判断力、 表現力等	話 す こと・聞 く こと	82.3
書 く こ と		68.2	
	読 む こ と	66.2	

中学校 数学	学習指導要領の領域及び評価の観点		岬町の平均 正答率(%)
	領域	数 と 式	75.6
		図 形	50.2
		関 数	60.1
		デ ー タ の 活 用	50.6
評価の 観点	知 識 ・ 技 能	65.8	
	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	52.5	

中学校 英語	学習指導要領の領域及び評価の観点		岬町の平均 正答率(%)
	領域	聞 く こ と	57.6
		読 む こ と	51.5
		話 す こ と	*
		書 く こ と	22.9
評価の 観点	知 識 ・ 技 能	52.4	
	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	37.2	

*話すこと調査の結果については、市町村別の結果は公表されません。

【小学校国語】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」について、学習した漢字を文の中で正しく使うことや文章の種類とその特徴について理解することなどは概ねできている。

一方、「書くこと」では、解答の条件に沿ってグラフや資料から情報を読み取って自分の考えをまとめて書くことに課題がある。

【小学校算数】

「変化と関係」領域は、概ねできている。特に伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取ることは相当数の児童ができている。（正答率90%以上）

一方、「図形」領域では図形の意味や性質について理解することに課題がある。また領域に関わらず、求め方や答え、判断した理由などを根拠を明確にし、数や言葉を用いて記述することにも課題がある。

【中学校国語】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」について、文脈に即して漢字を正しく書くことや「我が国の言語文化に関する事項」について、文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け自分の考えを広げたり深めたりすることには概ねできている。

一方、「読むこと」では、観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることに課題がある。

【中学校数学】

「数と式」領域は概ねできている。特に数と数式の乗法の計算や目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりすること、自然数の意味を理解することなどは概ねできている。また、「図形」領域についても図形の性質を考察し、空間における直線や平面の位置関係を捉えることは概ねできている。

一方、「データの活用」領域では累積度数の意味を理解することに課題がある。

【中学校英語】

「聞くこと」領域において、短い情報を正確に聞き取ることは相当数の生徒ができている。（正答率90%以上）

一方、「読むこと」領域において、文と文との関係を正確に読み取ることや短い文章の概要を捉えることに課題があった。また、「書くこと」領域においては、社会的な話題に関する英文を読んだうえで自分の考えや理由を書くことや、事実や自分の考えなどを整理してまとまりのある文章を書くことに課題があった。

【小学校国語】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」について、学習した漢字を文の中で正しく使うことや文章の種類とその特徴について理解することなどは概ねできている。

一方、「書くこと」では、解答の条件に沿ってグラフや資料から情報を読み取って自分の考えをまとめて書くことに課題がある。

【小学校算数】

「変化と関係」領域は、概ねできている。特に伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取ることは相当数の児童ができている。（正答率90%以上）

一方、「図形」領域では図形の意味や性質について理解することに課題がある。また領域に関わらず、求め方や答え、判断した理由などを根拠を明確にし、数や言葉を用いて記述することにも課題がある。

【中学校国語】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」について、文脈に即して漢字を正しく書くことや「我が国の言語文化に関する事項」について、文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け自分の考えを広げたり深めたりすることには概ねできている。

一方、「読むこと」では、観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることに課題がある。

【中学校数学】

「数と式」領域は概ねできている。特に数と数式の乗法の計算や目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりすること、自然数の意味を理解することなどは概ねできている。また、「図形」領域についても図形の性質を考察し、空間における直線や平面の位置関係を捉えることは概ねできている。

一方、「データの活用」領域では累積度数の意味を理解することに課題がある。

【中学校英語】

「聞くこと」領域において、短い情報を正確に聞き取ることは相当数の生徒ができている。（正答率90%以上）

一方、「読むこと」領域において、文と文との関係を正確に読み取ることや短い文章の概要を捉えることに課題があった。また、「書くこと」領域においては、社会的な話題に関する英文を読んだうえで自分の考えや理由を書くことや、事実や自分の考えなどを整理してまとまりのある文章を書くことに課題があった。

○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

小学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴教育委員会	85.9	10.9	3.3	0.0						0.0	0.0
大阪府（公立）	73.4	21.6	3.3	1.6						0.0	0.1
全国（公立）	75.3	20.6	2.9	1.2						0.0	0.1

□1. 当てはまる

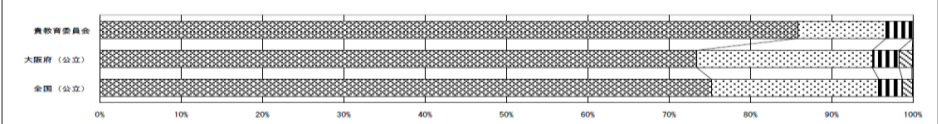
□2. どちらかといえば、当てはまる

□3. どちらかといえば、当てはまらない

□4. 当てはまらない

■その他

□無回答



○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

小学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴教育委員会	92.4	7.6	0.0	0.0						0.0	0.0
大阪府（公立）	81.0	15.2	2.6	1.1						0.0	0.1
全国（公立）	82.6	14.3	2.3	0.8						0.0	0.0

□1. 当てはまる

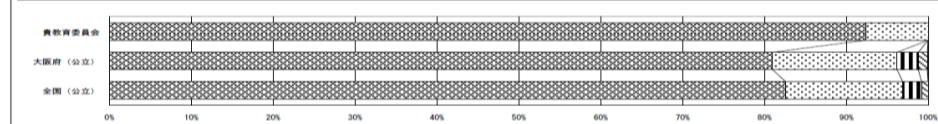
□2. どちらかといえば、当てはまる

□3. どちらかといえば、当てはまらない

□4. 当てはまらない

■その他

□無回答



○学校の授業時間以外に普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

小学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴教育委員会	5.4	14.1	19.6	18.5	15.3	25.1					0.0
大阪府（公立）	7.3	9.4	16.2	20.8	16.5	29.7				0.0	0.1
全国（公立）	7.6	10.9	18.8	22.7	15.4	24.5				0.0	0.1

□1. 2時間以上

□2. 1時間以上、2時間より少ない

■3. 30分以上、1時間より少ない

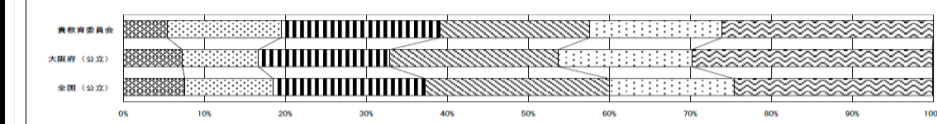
□4. 10分以上、30分より少ない

□5. 10分より少ない

□6. 全くしない

■その他

□無回答



○小学校・中学校とも「人の役に立つ人間になりたい」と考えている子どもの割合が非常に高く、令和4年度（小 96.5%、中 97.8%）と同程度である。

○将来の夢や目標を持っていますか。

小学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴教育委員会	81.8	13.0	1.3	3.9						0.0	0.0
大阪府（公立）	71.3	22.8	3.6	1.5						0.0	0.8
全国（公立）	71.7	22.9	3.3	1.3						0.0	0.8

□1. 当てはまる

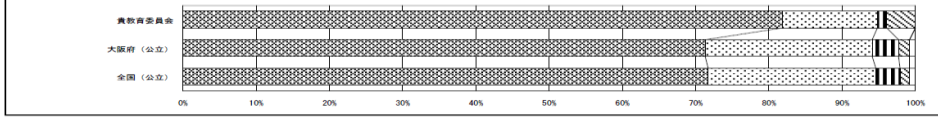
□2. どちらかといえば、当てはまる

□3. どちらかといえば、当てはまらない

□4. 当てはまらない

■その他

□無回答



○小・中学校共にいじめはいけないという意識が高いが「当てはまらない」「どちらか」として当てはまらない」と答えた生徒もあり今後の課題である。

○学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。

小学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴教育委員会	77.9	16.9	3.9	1.3						0.0	0.0
大阪府（公立）	79.3	15.5	3.2	1.4						0.0	0.6
全国（公立）	80.3	15.2	2.8	1.1						0.0	0.7

□1. 当てはまる

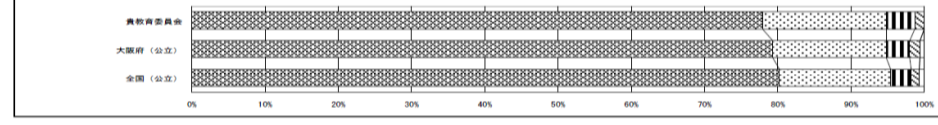
□2. どちらかといえば、当てはまる

□3. どちらかといえば、当てはまらない

□4. 当てはまらない

■その他

□無回答



●全く読書をしない子どもが小 26.1%、中 33.8%おり、令和 4 年度調査（小 30.2%、中 32.2%）比較で小学校では改善傾向があるが依然課題である。

○前年度までに受けた授業で、コンピューターなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか。

小学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴教育委員会	9.1	7.8	11.7	27.3	10.4	33.8				0.0	0.0
大阪府（公立）	4.9	6.8	12.0	17.2	13.2	45.3				0.1	0.6
全国（公立）	5.4	8.4	14.6	21.0	13.2	36.8				0.0	0.6

□1. 2時間以上

□2. 1時間以上、2時間より少ない

■3. 30分以上、1時間より少ない

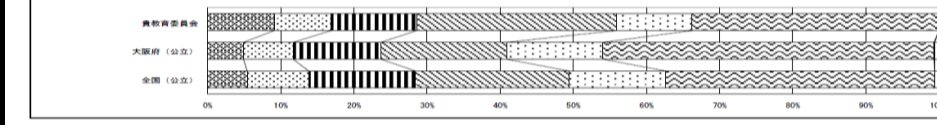
□4. 10分以上、30分より少ない

□5. 10分より少ない

□6. 全くしない

□その他

□無回答



○肯定的回答の割合（小 77.2%、中 59.8%）が全国・大阪府と比較し低く、今後キャリア教育の一層の充実を図る必要がある。

○肯定的回答の割合（小 85.9%、小 80.6%）が全国・大阪府と比較して高く、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が進んでいると考えられる。

○小学校・中学校とも ICT の使用頻度は高い。GIGA スクール構想のもと、1 人 1 台端末の利活用が進んでいる。